

H T K

通信

通巻 962 号 (1989 年 4 月 6 日第 3 種郵便物認可)通信 317

発行 広島聴覚障害者定期刊行物協会

編集 特定非営利活動法人 広島県手話通訳問題研究会

〒732-0052 広島市東区光町 1-11-5-508

電話(082)568-6770 FAX(082)568-6771

HP <http://homepage2.nifty.com/hirotsu-ken/>e-mail hirotsu-ken@nifty.com

2010 年 8 月号の通信

平和と手話通訳を考える集い	P.1
もっと知りたい広通研・ホームページ	P.2
理事だより、通研の本	P.3
中国地区合同手話研修会報告	P.4~9
中部ブロック	P.9~11
西部ブロック	P.12
東部ブロック	P.13
医療班	P.14
旅日記③	P.14~16
嵯峨コミどんどどこ?	P.16
リレートーク	P.17
平さん学習会のお知らせ	P.18
e 会報	P.19
広通研カレンダー	P.20

平和と手話通訳を

考える集い

2010 年度の平和と手話通訳を考える集いは、7 月 24 日(土)午後 1 時半から平和資料館東館地下 1 階メモリアルホールにおいて、広島平和資料館で語り部として活躍しておられる岡田恵美子さんに「笑顔で暮らせる地球を!」と題してお話していただきました。

当日は、57 名(内ろう者 18 名・一般 6 名)の参加者がありました。

8 歳であの日(昭和 20 年 8 月 6 日)に遭遇した岡田さんの記憶の中に鮮明に残っている広島市内の惨状も、聴いていて胸が苦しくなる思いでしたが、親を亡くした子どもたちが、戦後もなお、生きるため!食べるため!に戦い続けていた様子は、同じ年ごろの孫を持つ身には、あまりにも恐ろしく、苦しく、涙が止まりませんでした。

今も世界中には争いの中で平和を渴望している人々がいること、平和がすべてに優先することを改めて考えさせられた 2 時間でした。

被爆から 65 年目を迎え、「ノーモア ヒロシマ!」「ノーモア ナガサキ!」の声を上げ続けることが、広島に住む私たちの責務であると同時に原爆で亡くなられた方々に対する鎮魂なのだと痛感しました。

國近



もっと知りたい 広通研 『ホームページのこと』

広通研のホームページをごらんになったことがありますか？ぜひ一度のぞいてください。

今月は、そのホームページの管理人とホームページの話です。

気がつけば広通研ホームページ六周年

広通研HP管理人

昔、ワープロ全盛期の頃はパソコン通信が主流で、これは聴覚障害者や手話の仲間との情報交換に使えると思い、中国新聞社関連のサイトに広通研のコーナーを作りましたが、皆の通信手段はFAXが主流でしたし、多くは関心をもっていただけなかったように

す。

私は、東京に単身赴任した2001年夏以降、広通研活動から遠ざかっていましたが、当時の事務局が頑張っていたしかインターネットにホームページ（HP）を立ち上げられました。

その後、広島に戻り、事務局の下で管理人としてお手伝いすることになり、2004年6月30日に現在の形のHPにリニューアルし、「通信」のネタを掲載するようになりました。

もっと使いやすいHPにしようと、携帯電話で主なスケジュールを閲覧できるようにし、誰もが意見や情報の交流ができるように「掲示板」を設け、また活動予定を日々更新できる「カレンダー機能」を追加しました。これはもっと活用していただければと思います。

管理人の役割は、HP全体（構成やファイル）の管理、事務局から送られてくる情報の掲載、「掲示板」の悪戯書き等の削除などが主です。

実は、昨年夏から松山市に単身赴任とな

り、PCやネットのない生活です。毎月帰省した時にしかHPの更新ができなくなりましてので、私にかわって日々HPを管理・更新していただける方を探しています。

我こそはという方、事務局までご一報ください。



広島県手話通訳問題研究会のホームページ

理事だより

夏の陽射しの中、喪服に首から白い遺骨箱をさげ、凜として歩く母。

家に帰って「紙だけなんよ…紙だけ…」と身をよじって泣く母。

もう殆ど霧散しかけている記憶の中で、夏になると決まって思い出すこの場面。

父はあの沖縄戦で玉碎し、私は父の顔を知らない。

名前と階級だけ書かれたその紙を、私は今も仏壇にお位牌とともに祀っている。

若かった母は再婚し米寿を迎え、軽い認知症ではあるが今も元気に暮らしている。

その母に聞いてみたい「お母さん…たまには私のお父さんを思い出すことありますか？」と。

亀高 房恵



書籍 DVD 紹介

まだ読んでない、見ていないあなたにおすすめします！



「生きて愛して」 仲川 文江 著

A5版 定価:1300 円

戦前・戦中・被爆そして戦後の暮らしを語る15人のろうあ被爆者の手話を仲川文江さんが翻訳。ぜひ読んでいただきたい一冊です。



沈黙のヒロシマ

仲川文江・尾崎孝 著 3,360 円

あの日、さまざまなヒロシマがあった。私たちは、すべてを検証し、人類の遺産として引き継いでゆかねばならない…広島市長秋葉忠利

DVD もあります。

手話で語る戦争・被爆体験 ①・② 各 2,000 円＋送料

他にもあります。新刊もたくさんあります。

お申し込みは NPO 手話センターひろしま(ファックス 082-568-6771)まで

中国地区合同手話研修会

7月3日(土)、4日(日)の二日間にわたって第18回中国地区合同手話研修会が下関市で開催されました。

この研修会是中国各県の県手連(手話サークル連絡協議会)と全通研支部が共同で開催しているもので、今年は山口県の担当で開催され、各県から228名の参加がありました。4つの分科会からの報告です。

【第一分科会】

四時間の長時間を四つのメニューで学習しました。

一 自己紹介

向き合ったイスの大きな輪を作り、自己紹介を含め自由に話しあう。

時間が来ると中の輪が一つずつ移動する。私は六・七人ぐらいの人と話すチャンスがあった。まず名前、県名(山口以外の人とは会えなかったのは残念・)趣味やサークルの事。

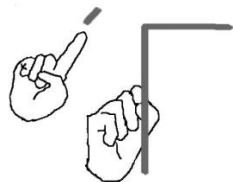
同じ県内でも、地域やサークルが違つと手話も異なる。「下関」という手話も三通りあった。



① Tの字に合わせる。中指を小指の方向に動かす。



② 両手をTの字に合わせ右手を上下に動かす。



③ 空書

二 単語の読み取り

ろう者が『単語』を表現し、次にその単語を使って例文を表現する。

その例文から『単語』の意味をさぐり、グループ毎に短文を作つて発表する方法。

『単語』は「いろ」の変形

例文は「最近、近所に越してきた彼女は美人だけれど、どうも服装が？」という文。話の内容は分かる。

「おかしい」「変だ」「コーディネートがわるい」「合っていない」「ちぐはぐ」といろいろな「言葉」が出たが、ろう者に採用されたのは「ちぐはぐ」という言葉でした。

次にこの「ちぐはぐ」という手話を使ってグループ毎の短文の発表。

「それは矛盾のほうがぴつたり」とか「彼は私を愛していると云うのに、街で美人の女性を見るのは『ちぐはぐ』だ」のような文には「それは意味合いがちよつと違つ」とか適切なアドバイスがあった。

三 一つの「単語」を様々な情景に合わせて表現する『表情』

「痛い」は、疼く、シクシク、キリキリ 重いの表現みんななかなか芝居上手、役者だな……とりわけろう者表現は端に的を射ている。

例「小遣いが減って悲しい」私の表現。

小遣いを使う、使う減る、残り少ない、悲しいと頑張つて手話を五つも出したけど、ろう者の表現は、お財布を開けてみる（顔をあげて）悲しい（表情が素晴らしい）の二つだけ。私は小遣いという言葉に拘った。

それは文章を「話」として感じ取っているから。ろう者は「見る言葉」で感じ取り「お金」で表した。その違いだと思う。

ムダがなく分かりやすい手話、通訳者もろう者も疲れない手話のお手本を見た！

四 最後はビンゴゲーム



第一分科会 自己紹介の様子

「干支」「都道府県名」の手話で盛り上がり三等迄賞品をもらいにここ。（私は賞と名のつくものにはとんと縁がない）

記念講演会講師のご都合で一日目に学習が集中して、四時間という長丁場。参加している私たちは気楽に楽しんで学習できたが、

担当者の皆さまは大変お疲れだったろうと思う。

二日目は、記念講演と全大会という日程なので、交流会には頑張つて参加し、その夜広島に帰るという強行スケジュールでした。

（亀高）

【第2分科会】

「手話サークル」

7月3日（土）雨の下関へ行つて来ました。

2日間のうち初日だけの参加でしたが、会場の下関市生涯学習プラザは、新しくて、立派で、明るくて、良かったのですが……何より内容が素晴らしいかった。

第2分科会のテーマは、「災害時の手話サークルの役割」

先ず、「防府市聴覚障害者災害対策協議会の活動について」と題して同協議会会長石川載光氏の報告がありました。

協議会発足は、平成11年の台風18号による高潮被害がきっかけ。

それまでも毎年台風被害に困っていた高齢ろう者世帯の被害を、「自分たちの命は自分たちで守ろう！」と、精力的にそして継続的に活動を続け、輪をひろげながら課題を見つけなおも向上している協議会のパワフルな報告でした。

平成16年、防府市との協議が始まり、平成18年から協議会の立ち上げの話し合いが具体化し、協議会発足は19年3月！19・20・21年3年間の成果は…

① 助成金（防府市・ゆめ風基金・山口県）があった…活動にあたり、ハード面において整備できたことは、発足時には大変ありがたかった。同時に決定されたからには、結果を出していくという意識が向上し、活動を進める上で原動力になった。

② ネットワーク作りができた…

19年度から実施された、佐波川流域防災訓練に参加したことをきっかけに、国土交通省、県支援課、防府市、消防署などの「官」をはじめ、民生委員、防災ネットワーク推進会議、アガサ隊（川の防災隊）、他防災推進団体などの「民」の両方にパイプを作ることができた。つまり、必要に応じてあらゆる活動の幅が考えられ、何かあれば協力体制が図れ、良好な関係が保たれている。

③ 一斉配信システム導入ができた…

これにより、県市、市消防との情報や会

独自の情報が個々にとれるように、21年度の災害時に有効活用できた。

④ 防災サインDVD政策ができた…

19年度から実施された、佐波川流域防災訓練に参加したことをきっかけに、災害時に、聴障者と健聴者がコミュニケーション出来るサイン作りに着手できた。アガサ隊とタッグアップして取り組んだが、アガサ隊がこの内容を防災甲子園の場で評価されたため、全国→県→山口→世界へとPRすることができた。

⑤ 21年度は、災害が身近な現実的なもの

となり…災害時には「災害要援護者」となる障がい者ではあるが、「災害支援者」になりうることを実証できた。そして、ボランティア活動では、身振りや口の動き・指さしなどで簡単な会話が伝えあう事ができ「防災サイン」が、災害現場でコミュニケーションツールとして有効だったと確信が持てた。以上、報告要旨

現在次のステップとして、一斉配信システムの文章を手話化して、全てのろう者にわか

りやすく配信できるように、プログラムを作成中だそうです。完成は間近のようでした。（國近 洋子）

【単語編】

危ない

防災サイン 【危ない】

（インターネットから）

【第3分科会】

『健康』

7月3日（土）下関で開催の中国地区合同手話研修会に参加しました。

まずは駅で河豚のから揚げ定食をいただいていた会場へ。

厚かましく許可を頂いて、控えめに広通研ブック・CDを並べて店開き。でも見てももらえない。と思っていたら山口の販売担当者が「広島のも見て」と声掛けしてくれた。うれしかったです。お陰で買ってもらえました。



分科会は第3分科会『健康』に参加。1コマ目は『笑いヨガ』。講師は平山英子さん。

外資系製薬会社で働いていた時うつ状態になり、平日は仕事に励むが、土日は夕方やつと目覚めるという生活を繰り返していた。そんな時、友人に無理やり誘われて行った温水プールでヨガと出会う。それまで「足がもつれて歩けない夢」をよく見ていたが、汗をかいてすっきりしたら見なくなっていた。

ある時ヨガ教室に来る人のほとんどが腰を痛めた人ばかりだと気づいた。ヨガもストレッチもある程度健康でないとできないです。よね。こんな時出会ったのが笑いヨガ（ラフターヨガ）。

笑いヨガは、冗談やユーモア無しで笑う、誰でもできる笑いの健康法で、インドの医師

が考案、現在65カ国、1万以上の笑いサークルがあります。

笑いは、ストレス性ホルモンを減少させNK細胞を活性化させてくれます。

笑っているときは自然に深呼吸をしているので、1分間の大笑いは10分間のジョギングに等しいと言われています。毎日1分間大笑いを実践し3ヶ月で3kg体重が減ったそうです。

心と身体には繋がりがあり、臓器に対応する感情があります。それぞれの臓器にプラスの感情とマイナスの感情があるのです（表1）。

初めて参加した笑いヨガの講座に参加されていた肺がんの手術をされた方は、手術以前を振り返ると不思議なことに悲しみの感情しかなかったと。また、心臓発作で倒れた人は、今は心を愛や喜びに変えるよう努力していると話していたそうです。

昔は時間がゆっくり動いて辛いことを癒す時間があったが、今は一つの感情が癒えないうちに次のマイナス感情がくる。自分の思い通りにならなかった時ストレスとなり、

脳がそれを感じてストレスホルモンを分泌しストレス性の

病気になるてきます。

今の私たちの生活は、アクセルばかり踏んでいる。

アクセルを踏んでいるんだけどスピードが出ない。なんでかな？と考える状態。

自分が休みたい時どのようなようにして休むかが今の課題。そのきっかけの一つが今回の笑い。

私達は大人になるにしたがって感情を外に出さなくなっていますので、初めは笑う練習から。

(表1) 臓器が持つ感情

プラスの感情	臓器	マイナスの感情
愛・喜び・思いやり	心臓	憎しみ・苛立ち
寛容・受容	脾臓	不安
勇気	肺	悲しみ・憂鬱
優しさ・落ち着き	腎臓	怖れ
親切・気前よさ	肝臓	怒り・欲求不満

声に合わせて手拍子を。右下で「ハ。ハ。」右上で「ホホホ」左下で「ハ。ハ。」左上で「ホホホ」正面で両手親指を立てて「イエイ」。この「イエイ」の時の顔は満面の笑みだそうです。

次は、声に合わせて腰を振って、正面で親指を立てて「イエイ」。練習が終わったら、握手をしつつ相手の顔を見ながら大笑いを。

終わりの合図の手拍子があるまで相手を代えて笑う。いろいろな笑いのバリエーションを楽しんで休憩？お隣同士耳と耳をくっつけて仰向けに寝る。まさにトドの昼寝。

次は、前の人のお腹の上に頭を置き、次の人の頭が自分のお腹の上に。頭を『ナデナデ』したりして自然に笑いが溢れていました。

来る時は少し痛みのあった膝ですが帰る道痛みが全く消えていることに気づきました。その後1週間痛み知らずで過ごせました。笑ってすごい力だなあと実感しました。

E. M.



【第4分科会】

「医療」

今年は山口の下関で開催されました合同研修会に参加しました。分科会は第4分科会で、医療です。今年のテーマは「ろう者の病院受診の実態」ということで、事前に各県にアンケートの依頼があり、広島は、各ブロックに依頼して、5つのブロックのろう者の病院受診の実態を知るために、アンケートを実施し、まとめて参加しました。しかし、山口の医療班の意図とは少し違っていたみたいで、各県がそれぞれの解釈で、まとめておられました。

最初に、「ろう学校教師から医者になって」というテーマで村上先生の講演があり、その後、グループに別れて話し合いを持ちました。私のグループは6名で、4名の医療関係者のうち2名が通訳者、他にろう者が1名、通訳者が1名というメンバーでした。

いろいろ現状が出されて、なかでもどうすれば、ろう者が気軽に受診できるだろうかという事に話題が集中しました。

村上先生がいわれた（思考言語と表現言語といわれたと思うのですが、言葉がはつきり思い出せません、要は）、言語を習得後失聴した人は日本語で考えるけど、先天的失聴の場合は違うらしい、というお話にとても納得しました。

山口県の医療班では、①通訳者の立場から病院受診を考える、②ろう者の立場から病院受診を考える、③医療関係者の立場から考えられたものをまとめておられました。それぞれ納得できるものばかりでしたが、なかなか現状は理想通りにはいかないことが多く、問題は山積みということも感じました。

ただ私個人が思う事ですが以前に比べれば、ろう者の社会的認知は確実にされてきているし、健聴者でも医療に関しては解からないことも多く、インフォームド・コンセントを受けたとはいっても理解はまだまだとい

う事もあり、セカンド・オピニオンにしても医者に遠慮して言えない、または聞いてもわからないからまかせろ、まかせられても医療従事者は困る。決めるのはあなただといわれて悩んでいる人も沢山いて、中にはインターネットで調べて治療方法を決める人もいて医者が困るというのを聞いたこともあり、どこまでお願いして、どこまで自分で決めるのかというラインを決めるのが難しいのだらうなと思います。

今回このグループでいろいろ話していて思ったことは、現場ではいろいろ考えて努力されている姿がよくわかり、まんざら捨てたものではないなというか、今までいろいろ通研やろうあ協会が運動されてきたことが少しずつではあるけれど形になってきているのかなという事を想いながら、時間の関係で全体での討議やまとめを聞かずに帰ったことを心残りに思いながら、少しずつではあります、これから地を足をつけて活動をしていかないといけないのかなと思いました。

西部ブロック医療班 植田 明美

中部ブロック学習会

リラクゼーション講座

&夏の交流会の報告

7月17日 土曜日 14:00～16:00 東

広島市高屋公民館において、広通理事の松本悦子さんをお招きしリラクゼーション講座を行いました。

当地で定例会を開催しているサークルも参加してくださり総勢15名で日頃の運動不足を解消です。

岡通研で、リラクゼーションを行



っている林さんも駆けつけてくださり、楽しく行いました。

最初に健康の3原則

① 栄養

② 睡眠 及び 休息

③ 運動(しっかり伸ばす・しっかり縮める)

スポーツと運動の違いも語られ、心構えが出来ました。

そして実践。先ずは、

腹式呼吸から

1. 吸う時は鼻から、

3～10秒(お腹を膨らます)

2. 吐く時は口から、6～20秒(お腹を凹ます)

次はストレッチ。ここで、6つの約束。

1. 弾みや反動をつけない。(ゆっくり伸ばす)

2. 息を止めない。(自然な呼吸法で)...

「止めたら死にますよ!」と言われ、笑いが起こりました。

3. 無理に伸ばし過ぎない。(痛みが出な



い程度)

4. 伸ばす筋肉を意識する。(筋肉が伸びていくのを感じる)

5. 身体全体について行う。上肢・下肢・ひねり

6. 一つ一つの動作は10秒から30秒間 静止する。

他の人と比較してでなく、自分のペースでと言われながらも、皆さん、お隣の軟体動物のような身体の柔らかさの持ち主が気になっ



た。
ストレッチ前の

前屈とストレッチ後の前屈。全員数センチ記録が伸びていて、運動の大切さを実感した2時間でした。その後 夜は 美味しいものを飲んで&食べての楽しい交流会が行われました。

(竹内)

参加者の声です。

◆日々パソコンと向かい合って仕事をしているので肩凝りに悩まされてた中、肩凝りにもいいやり方があるというのを見つけ、リラクゼーション講座に参加してみました。

感想としては、自分にとって肩に気持ちいいやり方を見つけたのがとてもよかったです。他については「足の筋がのびてるのかわかりますか?」の時点で「その足の筋のところ



サがバレてしまった。

最終的にはかなり柔らかくなっていたので驚きでした。ストレッチを続ければ柔らかい状態になるということなので頑張ってみたいと思います。(できるだけ)

(ろう者のTさん)

◆自宅で一人では、ゆっくりと腹式呼吸をしたり、体を動かすのは、なかなか出来ません。ストレッチしていると、腰まわりの筋肉が、「いたきも」でした。終わった後、体が楽になりました。みなで、時々、おしゃべりしながら、リラクスできる時間を持つことができて良かったです。ありがとうございます。(手話サークルきつつき 内藤)

◆7月17日(土)東広島市高屋公民館で行われたリラクゼーションに飛び入り参加させていただいた。

私は岡通研でリラクゼーションを何度かやっているのですが、全通研の他支部に参加するのは初めてなので、内心興味津々だった。というのも、2005年度から全通研中

国ブロックでリラクゼーション普及員養成講座に取り組んできてもう5年が経った。

岡通研では昨年あたりからリラクゼーションそのものが進化しつつある。

現在、内部で意思統一が取れているというわけではないが、ストレッチを単に身体を動かす体操的な観点から一歩抜き出て、筋肉を静的に伸ばすことの医学的な意味を浸透させることの大切さがリラクゼーション参加者の中で広がってきているのである。

筋肉が伸びていることをイメージすることとがどのような意味を持つのかということと、抗重力筋が24時間縮んでいることとのことを知ることが、ストレッチを日常に取り入れる重要なキーポイントになることがわかってきた。

その点ではやや温度差を感じたりリラクゼーション参加となった。

岡通研ではわずかではあるが筋肉そのものの勉強も取り入れている。もし機会があ

ればリラクゼーション交流会も企画したいものである。

岡通研 林 武夫(笠岡市)

講師の松本さん、参加者の皆さん ありがとうございます。

へ東広島ビデオを見る会へ

8月27日(金) 19時～21時

高屋公民館

9月24日(金) 19時～21時

高屋公民館

※第4金曜日です。



被爆65周年記念大会

日時 2010年8月22日(日) 10時～16時

ところ 平和記念資料館メモリアルホール(地下1階)

参加券 500円 市(ろう協にお問い合わせ下さい)

主催 広島市ろうあ協会

協力 広島市手話サークル連絡協議会

広島市通訳問題研究会



西部ブロックから

研究誌112号を読む会

とき：8月28日(土) 13時半～15時半

ところ：手話センターひろしま

講師：山本洋子さん 他

研究誌の表紙を飾った皆さんも

参加費：100円

持ち物：「手話通訳研究112号」



112号の表紙は、広通研の人たちです。ピースボランティアとしての活動が載っています

※ 参加申込みをしてください！

お名前・FAX番号・研究誌を読む会参

加とお書き下さい。

FAX (082)568-6771

映画の日 8月4日(火)

『ヒロシマ』を上映しました・

米内山明宏さんの手話語り



原爆が世界で始めた落とされたヒロシマ。一瞬にして二人の息子を失ったろう母親の悲痛な

叫びを米内山さんが熱く手話で語ります。原爆投下直後の街の様子も大迫力でした。

参加者の声です。

▽も～！涙でした。まるで、1945年8月5日の夜、飛行機が飛び立つその場面までずーと、タイムスリップしたみたいでした。

アメリカ兵がコインで賭けをする時は、苦々しい思いも。広島で日常の生活が行われていた空にB29が近づいてくるカウントダウンで、鳥肌が立つ思いでした。

お母さんが子供を思うところで涙が止まりませんでした。

読み取れないけど、気付いたら今に戻ってい

ました。

▽手話だけの語りでしたが、理解できました。言葉はなくてもすごい表現力！！

▽臨場感いっぱいでした。

手話サークル かがやき・参加者

K

新聞記事より 広島市手話

サークル連絡協議会は7月24日(土)、中区の平和記念公園で原爆慰霊碑を巡って平和学習をした。ろうあ者約20人を含む約100人が参加した。原爆の子の像や平和の鐘などを回り、それぞれ担当のサークルが事前に調べた由来などを手話で解説した。



平和記念公園内の「材木町跡」の石碑について説明する手話サークルのメンバー

東部ブロックから

「手話ビデオ」教材をつかった学習会



連日、猛暑のニュースがつづく中、8月5日に、福山市民参画センターにおいて、手話ビデオをつかったの学習会を開催しました。

講師は、広島から神辺さんです。もうみなさんおなじみの方です。神辺さんなら！と午

後からはリラックスセッションのためのストレッチも教えていただきました。

紙芝居風にスケッチブックに書いたものをめくりながら自己紹介や、ろう学校から特別支援学校までの変遷を見せて、話してくださいました。

DVDは「スーホの白い馬」「たんぼぼのちえ」「ちいちゃんのかげおくり」を見ました。どれも、手話表現がよくわかる表現になっていて「ちいちゃんのかげおくり」では本当に心に迫る話でした。子どもたちとのやりとりの様子も話していただきました。

参加者のみなさんから、次のような感想をいただいています。紙面上、内容をまとめてみました。

・今のろう学校の勉強状況が大体わかってよかった。

・説明文(たんぼぼのちえ)などは文章以上の情報が手話によって伝わるのではないかとさえ思いました。

・手話表現の豊かさで、文意がよくわかり感動しました。

・もう一度受けてみたいです。

・「たんぼぼのちえ」は、文章で読むより手話での表現の方がわかりやすいと思いました。

・あつという間の2時間でした。

そして、昼食。お弁当を食べながら「ゆず

り葉」のお宝映像を神辺さんの解説付きで見せていただきました。映画にはなかった場面なので興味しんしんでみました。

第2部は、ストレッチ。DVDにそって身体を伸ばしたいのですが、細かいところで神辺さんのワンポイントレッスンが入り、「うわっ、さっきとどかなかったのにこんどは手が床に…」

欲張りな内容での講師依頼を快く引き受けてくださった神辺さんに感謝しながら、熱風の中、我が家へ帰りました。でも、身体は、さわやかでしたよ



第2部は、ストレッチ・・・

細かいところで神辺さんのワンポイントレッスンが入り、「うわっ、さっきとどかなかったのにこんどは手が床に・・・

医療班からこんにちは！

7/22(木)テーマは「生検」

どうやって手話表現する？

「生検」って言っても、色々な検査方法があるよね。

なんて話し合っていると、ちようどううあ者のAさんとBさんがいらっしやいました。

「伝わるかどうか表現してみよう」ということになり、次の①と②の方法を表現してみました。

①体内(胃)から組織を取り出し検査する方法

「検査＋胃＋口から人差し指を入れるしぐさ＋少し＋つまむ＋取り出す＋顕微鏡＋検査」

表現し終わると、AさんBさんは「癌かもしれない。」「検査結果はいつでるの?」「葬式の準備があるかも。」「とブラックジョークの会話が始まりました。どんな検査かは、な

んとか通じた様子。

②腕にしこりがあり、組織を切り取って検査する方法

「腕(部位)を指す＋人差し指で切るしぐさ＋少し＋取り出す＋顕微鏡＋検査」

表現し終わると、AさんBさんからすぐに質問がありました。

「切って、血液を取り出すの?」「取り出した血液を顕微鏡で調べるの?」「組織を取り出す表現が、「血液」を検査するのだと伝わってしまった様子。

腕(部位)を指した後、「しこり」がある様子を表現したほうが伝わったかも知れないね・・・など、皆で話し合いました。

AさんとBさんが、たまたま①の検査方法を知っていたから伝わったのかもしれない。

皆さんなら、どのように表現しますか?

医療の現場では、患者さんが持っている情報量によっても、「伝わる」「伝わらない」の左右の分かれ道ができてしまします。

どんな患者さんにも伝わる手話表現を目

指し、ぼちぼちではありますが活動が続いている中部ブロック(医療班)です。

旅日記



～紀伊の国珍道中③～

『予測できないことばかり』

五日目。朝食のとき同宿した方から「那智大社から本宮にぬける大雲取越、小雲取越が良いよ」と聞かされる。後二日も泊まれないよねと思った。六時半宿を出るとき

おじさんは、わざわざ玄関まで出て、牛馬童子と小判地蔵の話をされた。

この宿もまたまた不思議な縁を感じる。

牛馬童子は説明どおりのかわいい顔をされた童子である。小判地蔵は小判を咥えて行き倒れた人を祀った地蔵である。きちんと言われたとおりに手を合わせる。「この旅をお守りくださいと」。

滝尻王子に11時10分着(歩行時間3時間40分)思ったより早く着いてしまった。これなら逆コースで時間の短い小雲取に行けるかとも思いながらバス停に行くと、不思議なめぐり合わせを感じる新宮行きのバスが来た「川請止まりますか?」「そんなところはないよ」「逆 請川」「あるある」変な私の質問で知らない土地の人間と見抜かれ小雲取入り口近くで降りてくださった。

ここで宿でもらった弁当を食べる。漬物で巻いて「めはり(目を張って食べる)」のように防腐がほどこしてあるものと、きな粉でまぶしたむすびでおいしかった。

ハイキングコースのように歩きやすい。道幅も広いしルンルンである。途中桜茶屋跡が

あり、ここから下の方を眺め白い姿が見えたら、湯を沸かし餅を突いてお客を待つと記してある。なんとも優雅である。15時20分小口着(歩行時間2時間30分)今朝の宿の人の話だと小学校を改造した宿があるとのこと。まずここを目指す。

「小口自然の家」に行ってみると「今日は満室 近くに民宿がある」と言われ、行ってみたらそこも満室。「どうしよう」再度小口自然の家へ。3、4人の職員が出てこられて、宿長が出かけているから待つようにと心配してくださる。宿長が帰ってこられ再度お願いしてみると「別宅でもいいか」とのこと。こうなったら廊下の隅でもかまわないと思った。

食事も交流室で特別に出してもらい風呂は個室(職員さん用のかな?)を使わせてもらった。その後、車で別宅に連れて行ってもらった。「エエエー」一人だけ?「眠れないやバイナー。10時ごろ扉を叩く音」小口の者です 荷物を取らしてください」。宿長の親族の家を空けてくださったようである。またまた感謝である。

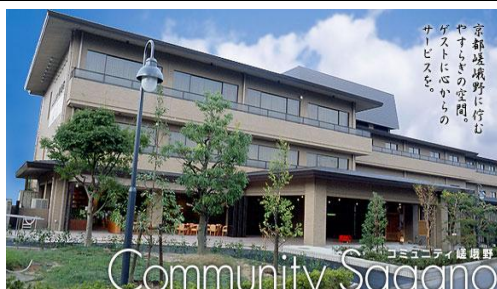
今日の偶然の多さはどうだろう。バスがすぐ来て、4時前に着き、もし電話で問い合わせていたら即断されていただろう。こんなことを考えていたら安心したのかグッスリ眠ってしまった。



『旅の終わりは感謝、感謝』

六日目。6時前に迎えに来るとのこと。早めに起きて車を待つ。三人が乗った車が来た。この方たちも別の別宅に泊まれたようである。山登りのツアー客が入り一般の泊り客がはみ出されたようである。いつもツアーに入っている私が、他の人にこのような迷惑をかけているのかもしれないと思った。

お茶とお弁当をいただき感謝感謝で出発。大雲取越は石畳の広い登り道が、これでもかと続きます。登りきると見晴台がありほ



全国手話研修センター

全通研会員は、宿泊費とレストランは、10%引きです。ただし、会員証が必要です。

嵯峨野「ミ」どんなところ？

M・U

んと雲を取る別天地となりますが、これらが大変な下りです。
 苔むした石で滑らぬように気をつけながら下りますが、その長いこと。
 那智大社に着くとうんざりするぐらいの人の波、アア山がイイナーと思いがながら帰路につきましました。

普通のホテル

広島駅から京都まで新幹線で1時間40分。JR 嵯峨野線に乗り換えて20分、嵯峨嵐山駅で降りると南口左側に目指す全国手話研修センターがあります。右側は、トロッコ列車の駅。

広島から2時間ちよいで行けるんだよ。普通のホテルだと思って気付かずには帰る人もいると思うよ。

春の花見シーズンは、観光客でこったがえしているけれど、今の時期はゆっくり観光できるよ（ねらい目かも）。

森林の中、美味しい物食べてここを拠点に京都の町を散策なんて最高じゃん！！フルムーン観光にどうよ！近くのお勧め観光スポットは美空ひばり館、トロッコ列車での観光。

年配の方を連れて行くには、表はしゃれた西洋館（白基調）おふる嵯峨野湯を改装して作ったレストラン中村屋（肉屋）のコロッケがうまい……

こんな情報は、全通研事務所に尋ねて

聞いてもOKだよ。全通研会員は割引もあるし。

研修センターって固い名前だけど、ホテルを活用してください。

インターネットで申込み可能です。

M・S

こんな設備も整っています。



ベルマンアラーム
(振動式目覚まし)



フラッシュベル

りれーとーく

西部ブロック

汲地咲枝さん



皆さま、始めまして……

広通研に入会させて頂きました、汲地咲枝（くむじさきえ）と申します。

どうぞよろしくお願い致します。

先日、突然りれーとーくの原稿作成の依頼を受けまして、何を書いたらいいのかわからず大変困惑しておりましたが、今回は手話を始めた動機から現在に至るまでの思いを、お話しさせていただきます。

私が手話に興味を持ち始めたのは、数年前に観たテレビドラマがきっかけでした。ドラマでは健常者の方と、ろうあ者の方が手話によってごく自然に会話されている姿がとっても美しく感じられ、私も手話で会話ができたら良いなと思っていました。しかし、当時は毎日の家事、育児に追われ、習い事を始める余裕が全くありませんでした。

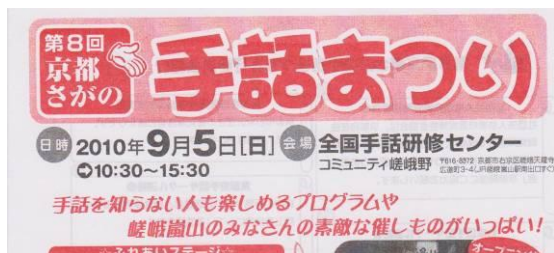
それから長い年月が過ぎて子ども達も巣立ち、時間に余裕ができた頃、知人に「手話入門講座と一緒に受けませんか」と誘われ、昔抱いていた気持ちで難心身福祉センターの講座に申し込みました。

最初はワクワクした気持ちでしたが、講座が段々と進むにつれ手話は手の位置、方向、形などを正しく表現しないと自分の気持ちが相手に伝わらず、その難しさに戸惑い、苦戦しながら「三步進んでは二歩下がる」の繰り返しでした。しかし、同期の受講生達と励まし合いながら、何とか講座を終了することができました。

現在は、心身福祉センターの「火曜たんぽぼサークル」に入会させて頂き、手話の表現、

同時性、位置、写像性等を教えて頂きながら、少しずつですが、頑張っています。これから何年かかるかわかりませんが、ろうあ者の方々と手話でスムーズにコミュニケーションがとれ、何かのお役に立てるようになれば嬉しいと思います。今後、広通研の皆さまにも色々ご指導頂けたら幸いです。

今後ともよろしくお願い致します。



全国手話研修センターの催し物です。

事務所に詳しいチラシがあります。

ちょっと京都へ。いかがですか？

平英司さんの

言語としての手話教育

主 催 N P O 広島県手話通訳問題研究会

日 時 9月18日(土) 13:30~16:00

19日(日) 10:00~15:00

会 場 二葉公民館 研修室A1・2

講 師 平 英司さん

《講師プロフィール》

関西学院大学人間福祉学部非常勤講師（日本手話担当）

手話通訳士

兵庫県手話通訳問題研究会会員

※関西学院大学では、松尾美幸さんとペアで講義を担当されています。

いろいろこぼれ話も聞けるかも・・・

定 員 30名

資料・テキスト代 2,000円(広通研会員:1,000円) 2日分

申込み締切 9月14日(火)

申込み先 手話センターひろしま FAX082-568-6771

(定員を超えご参加いただけない方のみご連絡いたします)

※18日 交流会を予定しています。多数ご参加ください。

切り取らずFAXしてください

名 前	TEL & FAX	交流会
		参加 不参加

8 / 21(土)	手話を学ぶ人のための表現講座	東区地域福祉センター	13 時～16 時半
17 火～20 金	司法修習生実習 (法律勉強会)	手話センターひろしま	13 時～ 17 時
22(日)	広島市ろうあ協会被爆65周年・・・	メモリアルホール	10 時～14 時
28(土)	研究誌で学ぶ 112 号	手話センターひろしま	13 時半～15 時半
30(月)	手話通訳トレーニング	手話センターひろしま	19 時～20 時半
9/ 18(土)	平さんの手話学習会	二葉公民館	13 時半～16 時
19(日)	”	二葉公民館	10 時～15 時
10/ 2(土)	教育フォーラム	安芸区地域福祉センター	10 時～16 時
11/ 3(水)	手話祭(県手連)	南区地域福祉センター	10 時～15 時半
11/21(日)	広島県の手話通訳問題を考える会	東広島	10 時～16 時
11/27・28	手話通訳フォーラム	福山	詳細後日

※広通研行事は準備の都合上 申込みをして参加して下さい。よろしくお願いします。FAX 082-568-677

編集後記

✽かいほう

◇お暑い盛りでございます。残暑お見舞い申し上げます。

毎年、8月6日・9日の前後、核兵器・戦争・平和に関して、いろんな立場からさまざまなメッセージが発信されます。

先日、映画「キヤタ・ピラー」を観ました。広島は全国に先駆けて上映され、初日、若松孝二監督の挨拶がありました。「正義の戦争なんてどこにあるんですか？」の発言に、わが意を得た思いでした。そして「主権在民」を改めて考えさせられた夏の日でした。

◇暑い夏です。私たちの活動もこの〈暑い夏〉に比べられるように

◇行事などに参加してのご意見、ご感想、写真をお寄せ下さい。お待ちしております。

中国地区合同研修会の報告にあった『笑いヨガ』に興味があります。人が集まった所で皆でやってみると楽しくなりますね。

さあ、やってみませんか。ハハハ、ホホホ、イエイ！

(H)

HKT (通巻962号) 通信317

発行 広島聴覚障害者定期刊行物協会
広島市南区比治山本町11-2

編集 特定非営利活動法人

広島県手話通訳問題研究会

広島市東区光町 1-11-5-508

電話 082-568-6770

FAX 082-568-6771

年間購読料 2000 円 (一部 200 円)正会員の購読料は会費に含む

